



# Arcserve による Microsoft 365 の データ保護方法

Arcserve Japan

2024年2月

# Microsoft 365 の標準機能だけでは物足りない5つの理由



**クラウド障害への対応**  
(ネットワーク障害含)

自社重要データの確実な担保  
ユーザデータの最終的な保護責任はユーザにあり

**サービス毎に異なる**  
**データ保護のやり方が煩雑**

確実なリストア  
一刻を争うリカバリー処理には簡便な操作性が重要

**法令順守** (GDPR/関税法など)  
**データ長期保管とランニングコスト**

退職者アカウントの扱いをどうするか  
保持期間延長によるデータ肥大のコスト増への対応

**One Drive / SharePoint Server**  
**クラウド環境のファイルサーバ対応**

組織としてのクラウド上のデータ保護の在り方  
クラウドの新リテラシーの実装

**オンプレミス環境 と Microsoft 365**  
**両方を運用管理している実態**

全ての環境を一元管理、運用効率向上の要望

# Arcserve による Microsoft 365 のデータ保護方法



オンプレミス/Microsoft 365  
まとめてデータ保護運用



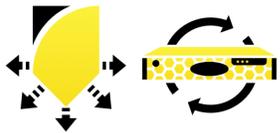
**Arcserve UDP**

**Arcserve UDP Appliance**

Microsoft 365 を  
直接クラウドへバックアップ



**Arcserve UDP Cloud Hybrid**



# Arcserve UDP / UDP Appliance による Microsoft 365 の保護



クラウドの制限に縛られずオンプレミス環境と同等のサービスレベルを実現  
UDPの操作性と機能をそのままに Microsoft 365をデータ保護

- 使い慣れたUDPの操作性
- **継続増分・重複排除**機能で保管データを最小化
- 完全削除したアイテムも復元が可能
- 退職者データの復元も可能



アイテム単位でリストア

メールボックス    メール    予定表    連絡先  
タスク    メモ  
パブリックフォルダ    SharePointドキュメント    Teamsメッセージ

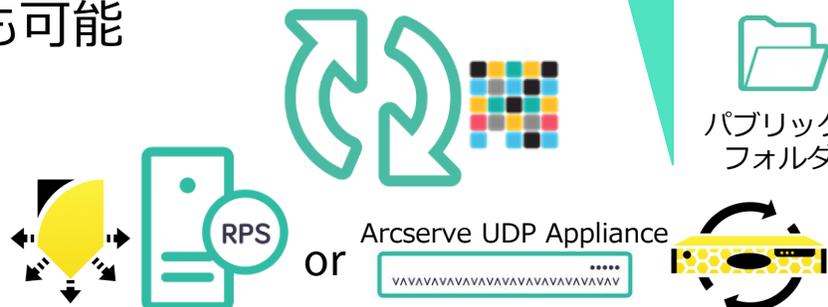
Exchange Online のアイテム保持期間

- 完全削除アイテム保持期間 => 14日
- 削除済みメールボックス保持期間 => 30日

SharePoint Online のテナント容量

- 初期容量 1TB + 10GB × ユーザ数
- 削除済みアイテムの保持期間 => 93日

クラウド環境外に保管  
自社独自のサービスレベル



Exchange Online / SharePoint Online / One Drive / Teams のデータをバックアップ



# Arcserve UDP Cloud Hybrid による Microsoft 365 の保護



Arcserve が提供するクラウドサービス上へ 重要な Microsoft 365 のデータを保護  
オンプレミス環境に設備が不要なオフプレミス提案

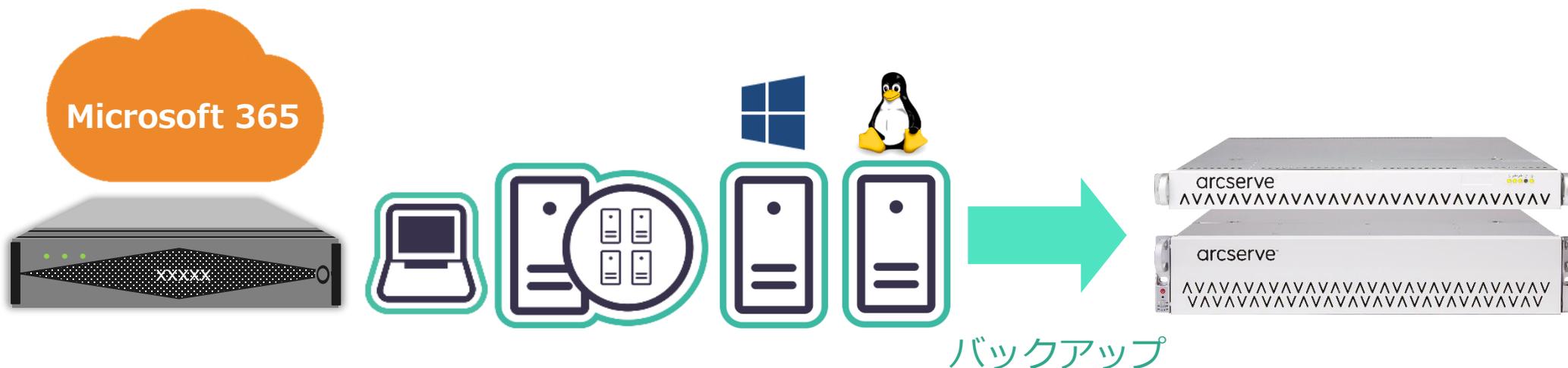
- Microsoft 365 のデータを**クラウドからクラウド (C2C) に直接保護**
- 必要なストレージ量に応じCloud Hybridを購入 (容量に応じた分かり易い課金体系)
- Arcserveクラウド上のUDPコンソールにログインして利用 (オンプレミス環境不要)

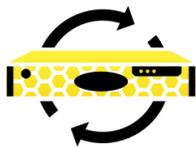


# Arcserve UDP Appliance

## バックアップ専用アプライアンスサーバ

Arcserve UDP をプリインストールしたバックアップ専用アプライアンス  
内臓ディスクにバックアップできる限りライセンスが使い放題  
中規模・大規模のオンプレミス環境と Microsoft 365 のバックアップを一元的にシンプルに実現





# アプライアンスで運用コストを削減



サイジング不要で設置も簡単、大容量ストレージへのバックアップで容量不足の心配無し！

バックアップ  
ソフトウェア



バックアップ用  
ハードウェア



5年間  
メンテナンス付

Arcserve UDP **プリインストール  
ライセンスフリー**

ハードウェア**検討が不要**

**2年目以降の更新費用不要**



サポート窓口

Arcserve **テクニカルサポート**  
(ソフトウェア版と同じ窓口)

メンテナンス期間

納品から**5年間**の  
メンテナンスが標準セット

1U モデル		価格(税込)
9100	(RAID-1: 4TB)	3,630,000 円
9200	(RAID-5: 12TB)	4,840,000 円
9200-6	(RAID-6: 8TB)	4,070,000 円
9220	(RAID-5: 24TB)	8,690,000 円
9220-6	(RAID-6: 16TB)	6,600,000 円

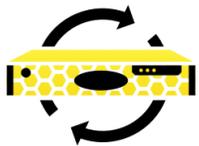
2U モデル		価格(税抜)
9400	(RAID-6: 40TB)	10,890,000 円
9420	(RAID-6: 80TB)	19,360,000 円

サポート対応

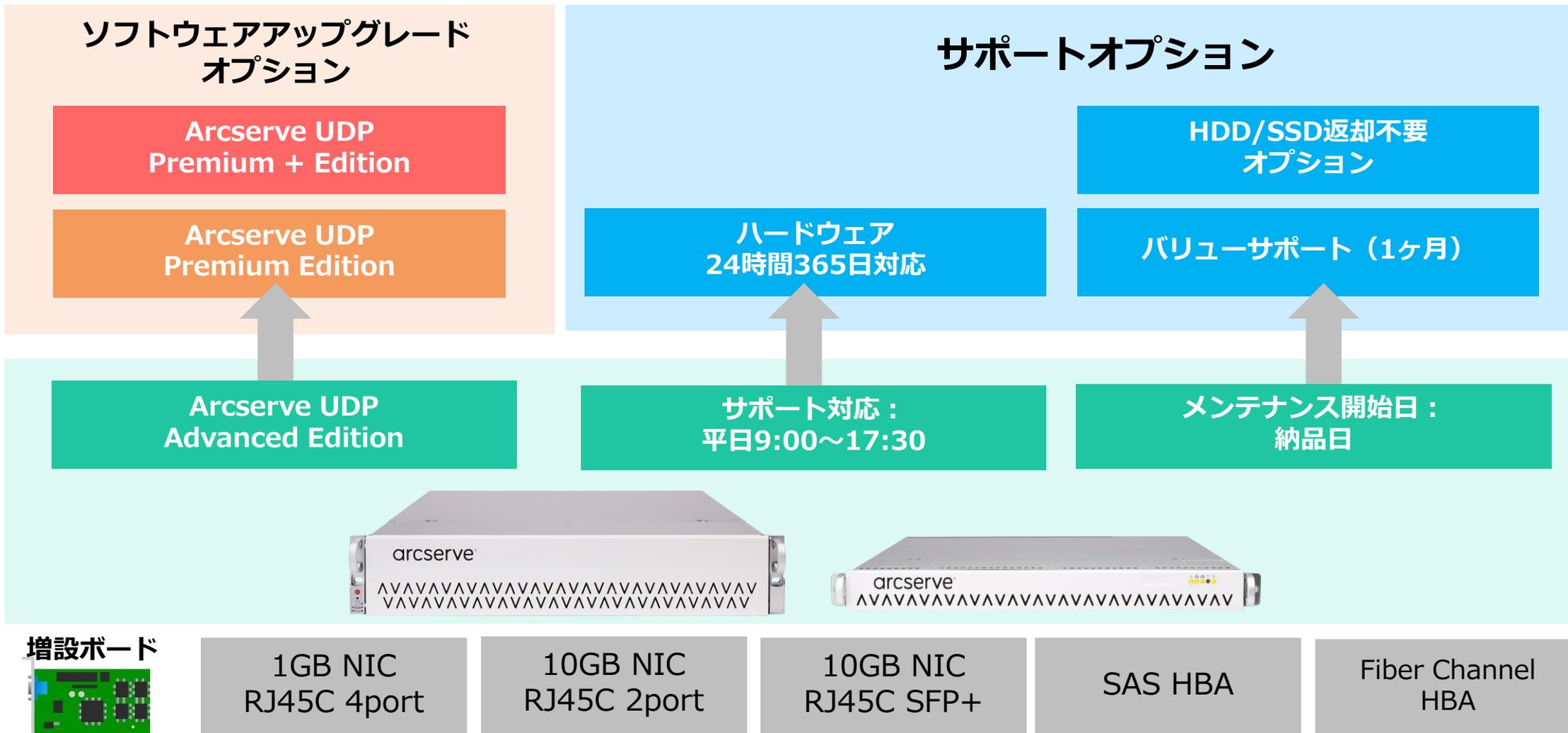
- Arcserve テクニカルサポートにて窓口対応。
- ハードウェア故障は**オンサイト**（現地訪問）対応が可能  
（部品交換が必要な場合、現地訪問は問題特定から4時間駆けつけ目標（※））
- Arcserve UDPの**無償アップグレード**が可能  
（アップグレード作業はお客様にて実施いただきます）

※ サービス拠点(札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡)より30km圏内での目標となります。





# Arcserve UDP Appliance 9000 シリーズ 製品体系



製品詳細はカタログ、価格表をご参照下さい

# Arcserve UDP Cloud Hybrid

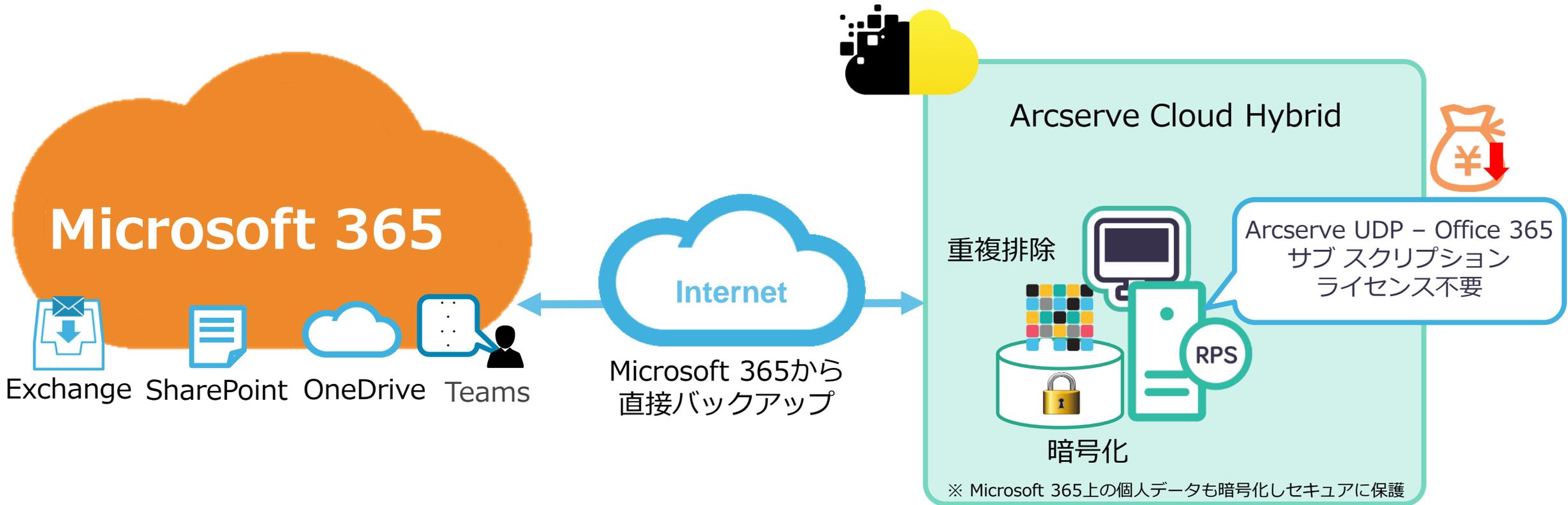
## Arcserve UDP 専用クラウドサービス

オンプレミスの Arcserve UDP と連携してバックアップデータを  
Arcserve が運用するクラウドに二次保管  
Microsoft 365 のデータを直接Arcserveのクラウドへバックアップ





## ライセンス不要で **Microsoft 365** をクラウドへ「直接」バックアップ





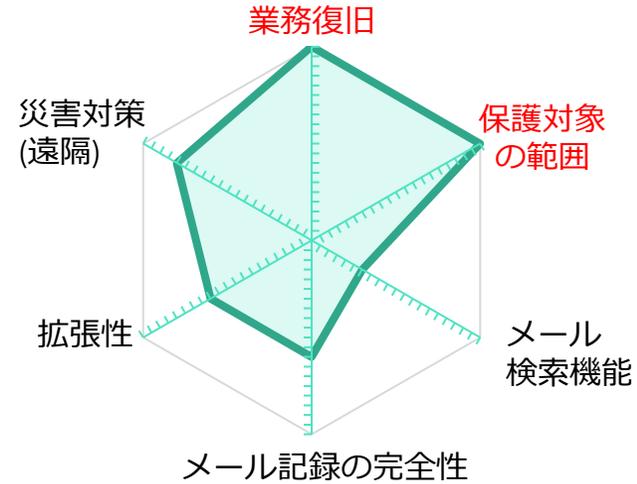
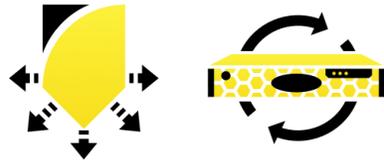
# 参考情報

# Arcserve シリーズ それぞれの特性



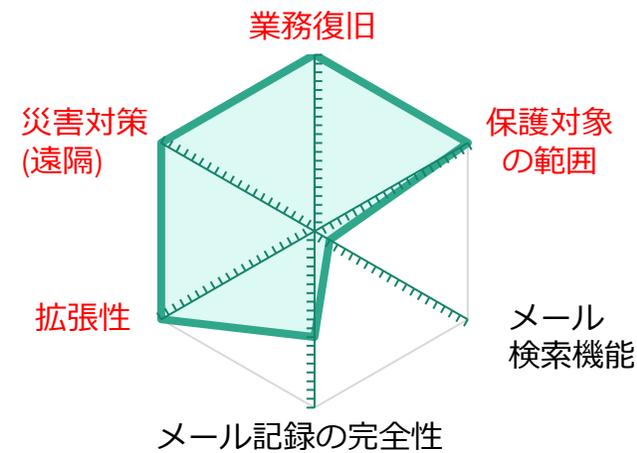
オンプレミスに保護

UDP /  
UDP Appliance

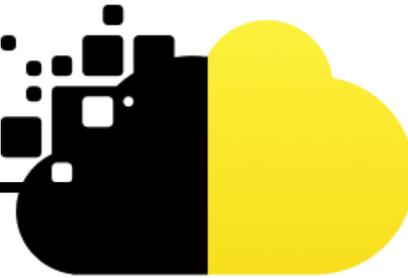


クラウドに保護

Cloud Hybrid



# Arcserve の2つのクラウドサービス



**Arcserve UDP  
Cloud Hybrid**  
UDP専用クラウドサービス

オンプレミスの Arcserve UDP のデータを Arcserve が運用するクラウドに複製



**Arcserve UDP  
Cloud Direct**  
クラウドへ直接バックアップ

直接クラウドにバックアップ  
バックアップサーバの管理が難しい  
拠点サーバや PC のバックアップに



# Arcserve Business Continuity Cloud のデータセンター



**Tier IV** 相当（一部 Tier III 相当）の高いセキュリティ・対災害性を持つデータセンターで運用されています。

Arcserve UDP  
Cloud Hybrid  
東日本/西日本  
(東京/大阪)

Arcserve UDP  
Cloud Direct  
北米西海岸  
(Santa Clara)

Arcserve UDP  
Cloud Direct  
日本 (東京)

電源/空調など  
設備の冗長化

免震/耐震構造

安全性の高い  
立地

厳密な  
入館入室管理

# Cloud Hybrid / Cloud Direct 比較



項目	Arcserve UDP Cloud Hybrid		Arcserve UDP Cloud Direct	
利用可能リージョン	東日本（東京都）	西日本（大阪府）	東日本（東京都）	北米西海岸 （Santa Clara）
クラウドの利用形態	D2D2C (*1)	D2D2C (*1)	D2C / C2C	D2C / C2C
提供サービス	BaaS / DRaaS	BaaS	BaaS	BaaS
転送されるデータ	継続増分 バックアップデータ	継続増分 バックアップデータ	継続増分 バックアップデータ	継続増分 バックアップデータ
初期ストレージ容量と料金	1TB : 192,000円/年	4TB : 816,000円/年	1TB : 240,000円/年	1TB : 240,000円/年
追加ストレージ容量と料金	1TB : 192,000円/年	1TB : 204,000円/年	1TB : 240,000円/年	1TB : 240,000円/年
インスタンスの容量	1TB ~ 60TB	4TB ~ 16TB	1TB ~ 20TB	1TB ~ 20TB
オンプレミスに 必要なソフトウェア	Arcserve UDP(*2)	Arcserve UDP(*2)	なし	なし
オンプレミスに 必要なハードウェア	RPSとコンソールを 導入できるサーバとストレージ または、UDPアプライアンス(*2)	RPSとコンソールを 導入できるサーバとストレージ または、UDPアプライアンス(*2)	なし	なし

(\*1) Microsoft 365のバックアップをする場合はC2C

(\*2) Arcserve UDP Cloud Hybrid で Microsoft 365 をクラウドに直接バックアップする場合は不要